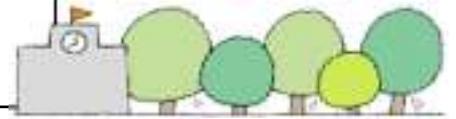




ぐんぐん



たのしかった ぜんこうえんそく



20日（金）に、雨畑地区に遠足に行きました。小学校での初めての遠足に、1年生は朝からにこにこ！いつも以上に元気いっぱい登校してきました。お天気は、ちょうどいい曇り！日差しが強く気温が高いと、体力も消耗してしまうので、曇りの気候が最適でした。

見神の滝は、ものすごい迫力で、自然のパワーを感じました。大きな滝が見られて何かいいことがあります！なんて思いました。滝へ近づくと少し肌寒かったので、子どもたちは教室での振り返りの時には、「今度は夏に行きたい！」「夏に行ったら気持ちよさそう！」と盛り上がっていました。

お茶工場では、お茶作りの工程を、実際に機械を動かして教えていただきました。1年生には少し難しいかなと思っていましたが、機械が動くたびに「わー」「おー」と感動の声が上がり、興味津々に機械を見たり、驚いたりしていました。終わりには、おいしい雨畑紅茶もいただきました。

正徳寺は、とても立派なお寺で、以前は早川初の保育園もしていたとのことでした。お寺にある太鼓をたたかせていただいたり、おいしいごちそうをたくさんいただいたりしました。子どもたちが持ち帰ったお菓子も、そこでいただいたものです。

硯匠庵では、雨畑硯の奥深い世界を教えていただきました。実際に、硯で磨った墨で字を書かせてもらうなど、貴重な体験もして、楽しく学ぶことができました。かわいい硯の石のストラップも作り、旅のお土産もできました。

早川の自然を感じ、文化・伝統を学び、とても楽しい遠足でした。友だちとお弁当を食べたり、手をつないで歩いたり、教室では味わえない体験ができた一日でした。

